

平成23年度後期小論文

問1

(1) 出題の意図

本問は、筆者が教育の職業的意義と考えているものについて、それぞれの否定的反応を踏まえて、その内容を問うものである。

筆者は、教育の職業的意義を否定ないし無用とする反応に対して、反論において、かなり詳細に筆者が教育の職業的意義と考えているものについて主張を展開している。このように、筆者は、自らの主張に対する批判に対してあらかじめ反論することにより、批判の分析を通して自らの主張の正当性を改めて説明するという手法をとっている。

解答のポイントは、筆者の主張に対する否定的反応と筆者の主張との対比を通して、筆者の主張を理論立てて説明しているかにある。

問2

(1) 出題の意図

本問は、公立学校の土曜授業の復活の是非についての2本の記事を参考にして、自らの意見を述べさせるものである。記事の内容は、土曜授業の復活によっても学力の向上や教育格差の解消につながらないとして、復活に反対するものと、土曜授業がなくなったことにより、家庭への教育負担が増えたことによって、かえって教育格差が拡大しているとして、土曜授業の復活を望むものである。中心的な課題は、現在の学校教育が抱えている問題を解決するうえで土曜授業の復活がどのような意義をもつのかにあると考えられるので、賛否いずれの立場を支持するにせよ、学校教育に対する現状批判にとどまらない現実的な解決方向を示す意見が開陳されることが期待される。